

## 認定制度の集い

司 会：木村 宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）

登壇者：生地 新（まめの木クリニック）

清野 百合（勝田クリニック／さくら精神分析研究室）

討論者：岩倉 拓（あざみ野心理オフィス）

COVID-19感染を機に、オンラインによる通信は私たちに身近で便利なツールとなり、人々の距離感が近くなった。サイコセラピーにおいても、同じ様に、オンラインによる臨床実践やトレーニングが実施され始めている。本学会では、感染下において認定精神療法医・認定心理療法士になるために必要な個人スーパービジョンにオンラインスーパービジョンを時限的に認めてきた。感染がおさまりつつある中、認定制度委員会を中心に今後のオンラインスーパービジョンのあり方について慎重に議論してきた。その中で、面接室内で患者との交流を重視する精神分析ではオンライン研修は強く推奨できない一方で、遠隔地の臨床家にとってオンラインは有用であるという考えに収束しつつある。オンラインスーパービジョンの位置づけははまだ議論が残るところであるが、今回、認定精神療法医・認定心理療法士になるために必要な個人スーパービジョンについて、対面でのスーパービジョンが困難である場合、認定スーパーバイザーの裁量によりビデオ通信システムによるスーパービジョンを認めることになった。

本年の認定制度委員会企画は、こうした現状について、生地新先生と清野百合先生にオンラインスーパービジョンについてご意見をいただき、さらに岩倉拓先生に討論いただいた上で、フロアーとのディスカッションを予定する。

本企画は、オンラインスーパービジョンのこれからについて様々な意見を出し合いながら理解を深めるため、初学の方を中心に、どのような学びの段階ある方も参加を歓迎します。